令和８年度　家庭科　第２学年　評価規準

第＿２＿学年【年間授業時数＿３５＿時間】

月	単元名（時数）	学習活動	評価規準
4 5	Ｃ衣生活・住生活と自立 １　日常着の活用（２） 衣服のはたらき 自分らしく目的に合わせた着方 衣服の活用と選び方 ２　日常着の手入れ（４） 汚れと手入れ 手入れと表示 衣服の洗濯 衣服の補修とアイロンがけ	衣服と社会生活のかかわりを考え，目的に応じた着方や個性に応じた着方や個性を生かす着方について考え，工夫をする。 衣服材料に応じた日常着の適切な手入れと補修ができること。	【態】衣服と社会生活とのかかわりに関心をもち，時・場所・場合に応じた衣服を着用しよう通している。 【思】目的に応じた着用や個性を生かす着用について，考え，工夫している。 【知】既製服を選択するための情報を収集・整理することができる。 【知】衣服の社会生活上の機能について理解している。 衣服の計画的な活用の必要性を理解している。 既製服の表示と選択に当たっての留意事項について理解している。 【態】衣服の材料や日常着の手入れに関心をもち，洗濯や補修の課題に取り組もう通している。 【思】衣服の材料や状態に応じた洗濯や補修について考え工夫している。 【知】衣服の材料や汚れ方に応じた方法で日常着の洗濯ができる。 補修の目的と布地に適した方法で衣服を補修することができる。 【知】洗濯の要点と方法について理解している。 補修の目的と布地に適した方法について理解している。
6 7 9	３　環境に配慮した衣生活（２） １　わたしや家族の生活を豊かにする工夫 ２　布を用いたものの製作（８）	環境に配慮した洗濯や，着用の仕方，再利用などについて考える。 身近な布を用いて補修の技能を生かした小物の製作を通して，生活を豊かにする工夫ができること。	【態】布を用いたものの製作に関心をもって取り組み，自分や家族の生活を豊かにしようとしている。 【思】衣生活や住生活を豊かにするための製作品を考え，製作計画や方法について自分なりに工夫している。 【知】安全で効率よく，布を用いた物の製作をすることができる。 【知】布を用いた物の製作に関する知識を身に付けている。

10 11 12 1 2 3	1　住まいのはたらき（2） 住まいのさまざまな役割 共に住まう	自分の生活を振り返り，住まいのはたらきを考える。(気候の特徴を生かした住まい方)	【態】自分や家族の住空間と生活行為とのかかわりについて, 関心をもって学習活動に取り組んでいる。 【知】住居の基本的な機能について理解している。
	2　安全な住まい（6） 住まいの安全対策 災害への備え 3　快適な住まい（2） 室内の空気調節	安全な室内環境の考え方を知り工夫できる。(バリアフリー) 快適な室内環境の考え方を知り，工夫できる(換気の仕方・通風の工夫)	【態】安全で快適な室内環境に関心をもち, 整え方や住まい方の課題に取り組もうとしている。 【思】室内環境について課題を見付け，調査・観察・実験などを通して, 安全で快適な整え方や住まい方について考え，工夫している。 【知】安全で快適な室内環境の整え方と住まい方に関する具体的な方法について理解している。
	B　食生活の課題と地域の食材・食文化 4　地域の食材と食文化（9）	地域の食材を生かした日常食の調理を通して地域の食文化を知り，食生活をよりよくしようとする。	【態】地域の食材や郷土料理について関心をもって調べようとしている。 【思】資料収集・情報整理について工夫している。
	①地域の食材と郷土料理 受け継がれる食文化 ②地域と世界へ目を向けて	地域の食材と郷土料理について調べる。 気候風土の特徴と食材や調理法の特徴の関連を考える。 簡単な行事食をつくる。 地産地消について知り, 考える。 日本の食糧事情を知り，これからの食生活の課題を考える。 伝統食のエコクッキング(調理実習)	【知】簡単な行事食をつくることができる。 【知】地域の食文化の意義について理解している。 【知】地域の食材を使ったエコクッキングの調理実習ができる。